

カンボジア村落開発促進のための 人道的地雷撤去支援報告書

第1四半期事業報告: 2021年4-6月



**MAG (Mines Advisory Group)
CAMBODIA**

#9AB, Street 446, Sangkat Toul Tom Pong I,
Khan Chamkamorn, Phnom Penh, Cambodia

Tel: +855 (0)23 215 115

www.maginternational.org/Cambodia

写真:2021年5月、バタンバン州コスクララ地区で地雷除去作業を行うため、Digger 250のリモコンを操作する機械作業員。

プロジェクト概要

1992年にカンボジアで事業を開始して以来、MAGは9,500万㎡以上の土地を地雷の影響を受けてきたコミュニティに返還し、35万個以上の危険物を破壊して、190万人以上の女性、少女、男性、少年の直接的な利益に貢献してきました。人口の80%が農村部に住み、経済的打撃に対して非常に脆弱な国では、地雷汚染の存在が、地雷被害を受けたコミュニティの貧困削減と開発への新たな取り組みを妨げ続けています。MAGはカンボジア王国政府(RGC: Royal Government of Cambodia)を支援して土地を安全で生産的に使用できる状態に戻し、「地雷のない2025年」構想を支持しています。

テラ・ルネッサンスからの、「カンボジアのコミュニティ開発を促進するための地雷調査と撤去」というプロジェクトへの12ヶ月間の多額の資金提供をもって、MAGは優先地域の技術調査と撤去を実施するための機械操作ユニット(MOU: Mechanical Operations Unit)を配備しました。



目的

カンボジア農村地域における、地雷に汚染されたコミュニティの長引く貧困の削減と社会経済的復興に、地雷の撤去を通して貢献する。

目標

コミュニティ発展の機会を最大にするために、地雷に汚染されていると疑われる地域での機械による調査と地雷の撤去を支援する。



プロジェクトアップデート

MAGカンボジアは現在、プノンペンのサポートオフィス、バタンバン州とラタナク・キリ州のオペレーションオフィスの3つのオフィスを持っています。ラタナク・キリはクラスター汚染地域の一つとして知られており、バタンバンは国内で最も地雷が多い地域の一つです。MAGは過去数年間、ラタナク・キリ州でクラスター弾による汚染を除去し、影響を受けたコミュニティに爆発物のリスク教育を行ってきました。最近の調査では、同州内に多くの地雷原があることが判明しましたが、同州のキャパシティー不足のため、これまで地雷の除去作業は行われていませんでした。その結果、MAGは地雷の除去を行うために、地雷除去チームと機械操作ユニット(MOU: Mechanical Operations Unit)を1つずつ配備することを決定しました。これにより、死傷する脅威を軽減するとともに、地雷の影響を受けたコミュニティがこの土地を安全に生産的利用に戻すための新たな機会を提供することができます。ラタナク・キリの地雷原の性質を考慮すると、Digger 250はMAGで利用可能な唯一の適切な機械資産であると考えられ、MAGはDigger 250とのこのMOUを2021年7月からバタンバンからラタナク・キリ州に再配置することを決定しました。

MAGは、テラ・ルネッサンスからの現在の支援は、主にバタンバン州で地雷除去を行うMOUの支援であると理解しており、ラタナク・キリに移動したバタンバン州と類似するDigger MOUチームの代わりに、よく似た別の機械であるMedium Mine Wolf(MMW)を使用して、現在バタンバン州コスクララ郡の地雷原で地雷撤去を行っているため、このご支援が継続されればありがたいと考えています。MAGは、テラ・ルネッサンスのご支援と柔軟性にいつも感謝しております。

プロジェクト成果概要

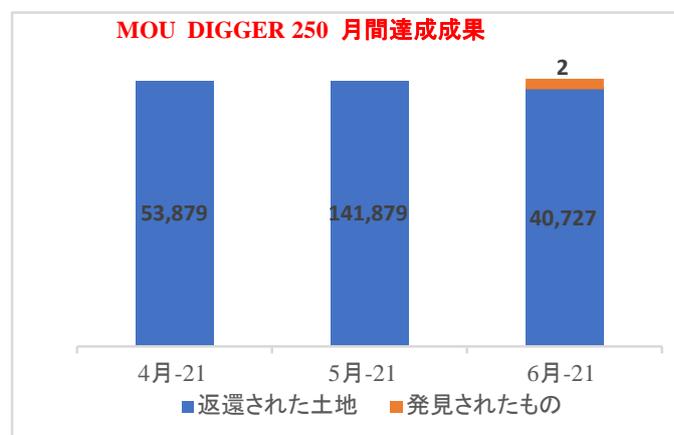
活動	期待される成果の合計	第1四半期達成成果	達成された成果 (これまでの合計)	達成率 (%)
DIGGERD-250機械操作 ユニットの調査と撤去活動 によって返還された土地	380,000m ²	236,485m ²	236,485m ²	62%
プロジェクト実施地域で 発見された地雷とその他の 爆発性戦争残存物の 安全な撤去と破壊	該当なし	2つの 対人地雷を破壊	2つの 対人地雷を破壊	該当なし
直接・間接受益者数(人)	2,805	7人の直接受益者と 1,399人の間接受益者	1,406人の 直接・間接受益者	50%

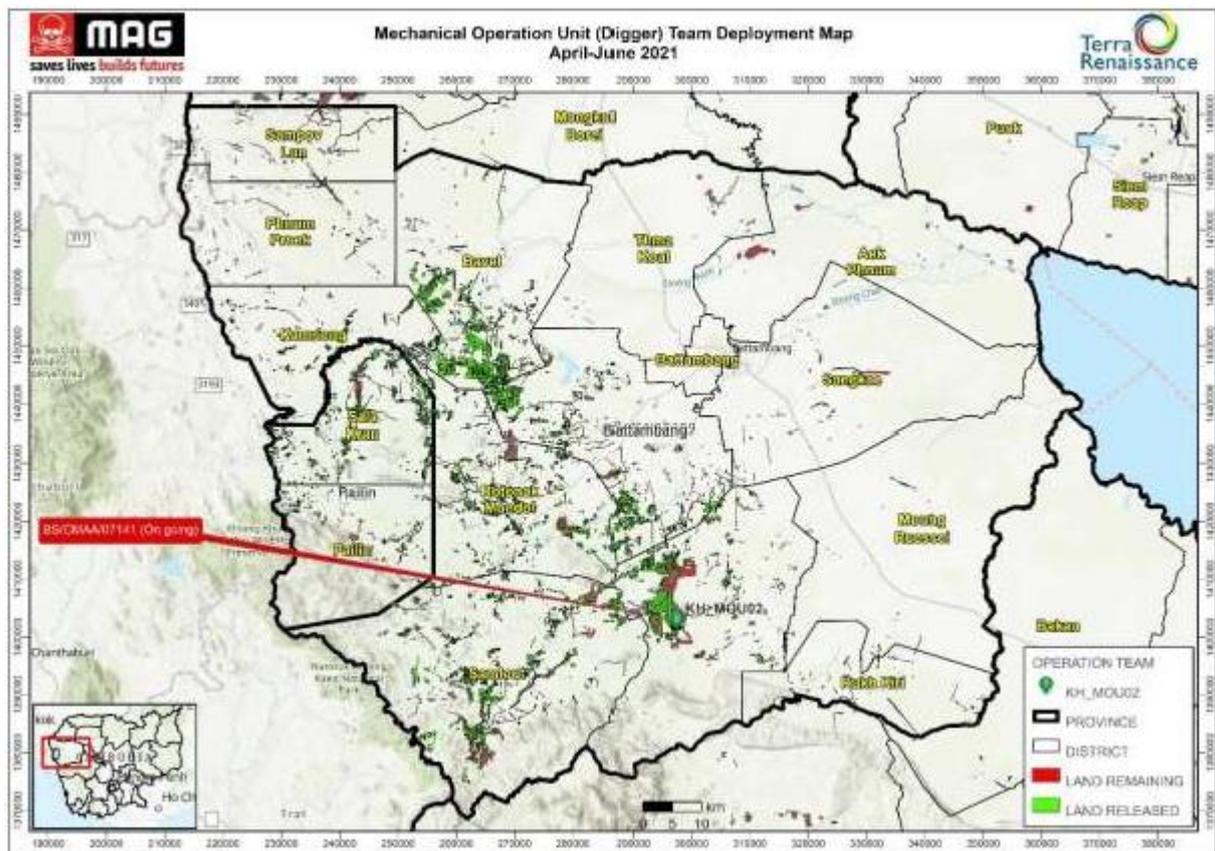
プロジェクトの実施

プロジェクトの実施 今期(第1四半期)、MAGはMOUを派遣し、以下の地図に示すように、バタンバン州コスクララ郡のプレイ・タウン村にある1つの地雷原で除去活動を行いました。チームは236,485m²の汚染された土地を返還し、プロジェクト全体の土地返還目標の62%を達成。そして、72A型の対人地雷2個を発見・破壊しました。

今回の報告期間中に返還された土地が大幅に超過したのは、MOUが実施した技術調査による返還の成果が主な理由です。チームは技術調査によって135,360m²の汚染された土地を削減することができ、これは本報告期間中に返還された土地(236,485m²)の57%に相当します。

MOUは2021年4月1日にプレイ・タウン村の地雷原(BS/CMAA/07141)での地雷除去活動を開始し、2021年7月に活動を終える予定です。この地雷原は、2世帯7人(女性2人、男性4人、少年1人)が所有しています。この地雷原での地雷除去が完了すると、322世帯1,399人(女性432人、男性402人、少年270人、少女295人)が間接的に恩恵を受けることになります。これは、プロジェクト全体の目標である土地の受益者数の50%を達成することに寄与します。





プロジェクトの成果と影響

バタンバン州は、2021年6月29日現在、135km²の地雷で汚染された土地がある、カンボジアで最も地雷の影響を受けている州であると同時に、最も貧しい州の一つでもあります。MAGの地雷除去活動の恩恵を受けている人々の大半は、自給自足の農業(米、キャッサバ、豆、トウモロコシ、マンゴー、カシューナッツ、トウモロコシ、コショウなどの栽培)と非木材森林製品の収集を主な生計手段としています。コミュニティは、インフラの整っていない遠隔地に多く住んでいるため、サービスへのアクセスが非常に限られています。また、地雷や爆発物による汚染のために農地の利用が制限されていることも、貧困削減や開発への取り組みの妨げになっています。

カンボジアのキャッサバの生産と輸出を促進するために、2021年1月から新しいキャッサバ政策が設定されました。この政策は、商務省、農林水産省、国連開発計画(UNDP)によって発表され、2025年までの画期的な国家政策として認識されています。キャッサバ製品は、何千人ものカンボジア人の雇用と生活を確保する鍵となる傾向があり、農家にとっては重要な換金作物です。しかし、安全な土地がなければ、キャッサバ政策の達成は難しく、コミュニティ内での生計向上活動の妨げになることは明らかです。MAGの地雷撤去活動は、カンボジア全土、特にバタンバン州の地雷の影響を受けたコミュニティにとって重要であり、国のキャッサバ政策において重要な役割を果たしています。テラ・ルネッサンスの支援により、MAGはコミュニティの大半がキャッサバ農場に大きく依存しているコスクララ郡で、地雷除去を行うためにMOUを配備することができました。

本報告期間中、コスクララ郡の合計236,485m²の汚染された土地が解放され、2世帯7人の一般人が直接的に受益しました。ノンテクニカル調査チーム(※)によって行われたMAGの事前影響評価によると、返還された土地は100%キャッサバの栽培に使用される予定です。

※ノンテクニカル調査チーム: 金属探知機などの地雷を探知する機械を使わずに、村長や元兵士、地雷の情報を知っている村人たちから、地雷の情報を聞き取り、地雷撤去による受益者や土地の所有者、地雷撤去後の土地利用を調査するチーム

追加情報

カンボジアでは、2021年4月1日時点の新型コロナウイルスの確定症例数2,477人・死者数14人から状況が悪化し、2021年6月30日時点では、新型コロナウイルスの確定症例数51,384人・ウイルスに起因する死者数628人と報告されています。最も多くの新型コロナウイルス感染者が確認されているのはプノンペンで、バタンバンは最も少ない感染者の一つでした。MAGがFCDOの下で地雷撤去活動を行っているバタンバン州は、新型コロナウイルスの影響をあまり受けていませんが、MAGは新型コロナウイルスが事業活動やMAGが活動するコミュニティ内で蔓延することを抑制、防止するために警戒し、積極的に行動しています。

カンボジア政府は、2月下旬に新型コロナウイルスのワクチンの接種を開始し、2021年6月30日現在、総人口の18.5%に相当する約305万人が完全に接種を終えています。プノンペン本部のMAGスタッフは接種を終えましたが、バタンバンのMAGメンバーは現在、政府の接種計画に従っており、新型コロナウイルスのワクチンは2021年10月から11月にかけてバタンバン州に配布される予定です。

プロジェクト中の写真

これらの写真は、第1四半期中にバタンバン州コスクララ郡で行われた、MOUチームの活動中に撮影されたものです。

